



## 2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月10日

上場会社名 マックスバリュ東海株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8198 URL <http://www.mv-tokai.com/company/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神尾 啓治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 高橋 誠 TEL 055-989-5050  
 四半期報告書提出予定日 2018年10月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年2月期第2四半期の連結業績 (2018年3月1日～2018年8月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	113,467	0.6	2,115	△5.9	2,044	△9.6	1,234	△11.7
2018年2月期第2四半期	112,767	0.5	2,248	0.2	2,260	3.5	1,397	15.1

(注) 包括利益 2019年2月期第2四半期 1,150百万円 (△13.1%) 2018年2月期第2四半期 1,324百万円 (28.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	69.30	69.19
2018年2月期第2四半期	78.45	78.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第2四半期	75,695	48,544	64.0	2,718.20
2018年2月期	72,374	48,204	66.4	2,696.12

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 48,448百万円 2018年2月期 48,044百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2019年2月期	—	0.00	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年2月期の連結業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	229,000	1.5	5,400	2.8	5,300	1.0	3,250	1.2	182.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期2Q	17,883,300株	2018年2月期	17,883,300株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	59,578株	2018年2月期	63,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期2Q	17,820,558株	2018年2月期2Q	17,816,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策などを背景に、企業収益の改善が進むとともに、所得環境の改善や個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。しかし、世界経済におきましては、保護主義的政策による貿易摩擦の懸念や地政学的リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、食品スーパーマーケット業界におきましても、お客さまの消費行動や価値観の多様化など経営環境の変化に加え、採用環境の悪化や労働コストの上昇、更には業種・業態を超えた競争の激化など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、当事業年度のスローガンに、「地域密着経営の実践 お客さまのために 自ら考え、自らやり遂げよう!」を掲げ、地域社会から必要とされる一つひとつの店舗の創造に向け、地域密着経営の更なる推進とともに、お客さまの健康でより豊かな食生活を実現するための商品・サービスの提供などの経営課題に積極的に取り組んでまいりました。

## (国内事業)

国内事業におきましては、大規模な自然災害による社会生活の混乱や、猛暑の影響により農産物相場の高騰、更には水産・畜産物の仕入価格上昇など、不安定な経営環境が続きました。そのような環境の中、当社はお客さまの多様化するニーズにきめ細かく対応すべく、地元商品の品揃え拡大や、人気中華惣菜の導入、当社の管理栄養士監修によるオリジナルレシピの惣菜の提案強化に取り組むなど、健康で豊かな食の提案に取り組んでおります。また、ワークスケジュールを活用し、必要な時間帯に必要な人時を投入する体制の強化や、部門の垣根を越えた働き方改革の推進など、経営効率の強化にも取り組みました。

その他、当社ネットスーパーの配送システムを活用し、商品のお届けとともに、お客さまの安全を確認する「高齢者等見守りネットワーク事業」に関する協定を地元自治体と締結するとともに、店舗と自治体との連携による食育講座や健康キャンペーンの開催なども継続的に実施しております。

その結果、第2四半期会計期間における個別業績は、営業収益が前年同期比1.5%増、営業利益が同0.2%増となるなど、回復基調を確保しましたが、第1四半期の落ち込みをカバーすることは出来ませんでした。

店舗展開におきましては、3月及び4月に静岡市内に小型業態であるマックスバリュエクスプレス2店舗を開設したことに加え、6月にマックスバリュエクスプレス土肥店(静岡県伊豆市)、7月にザ・ビッグ北杜須玉店(山梨県北杜市)の累計4店舗を開設いたしました。マックスバリュエクスプレス土肥店は、史跡「土肥金山」の対面に位置し、地元農産品コーナーの設置や旅行・行楽客などの需要を見据えた地元産品の充実を図っており、ご来店されるお客さまに地域の魅力をお伝えしております。その他、お客さまのニーズにお応えする商品構成の実現やイトインコーナーの充実などを図るため、店舗活性化改装を累計6店舗で実施したほか、5月には老朽化したマックスバリュ御殿場東田中店の閉鎖(スクラップアンドビルド)を行いました。これらの結果、国内事業における店舗数は、151店舗(うち、ザ・ビッグ35店舗、小型業態マックスバリュエクスプレス14店舗)となりました。

## (中国事業)

イオンマックスバリュ(広州)商業有限公司は、4月に9店舗目となるマックスバリュ恒宝広場店(広州市荔湾区)を開設しました。

営業面においては、週末企画、火水曜日を軸に、10元均一セールなど各種企画を織り交ぜ、客数、買上点数増加による売上の底上げを図るとともに、カード会員を軸とした会員価格、ボーナスポイントなどによる固定客づくりを進めております。

また、更なる荒利率向上、店舗オペレーションの効率化、店舗在庫回転日数短縮など、利益構造、財務内容の改善にも引き続き取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,134億67百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益21億15百万円(同5.9%減)、経常利益20億44百万円(同9.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億34百万円(同11.7%減)となりました。なお、第2四半期連結会計期間における営業収益は前年同期比2.1%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は同0.4%増となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比し、33億20百万円増加し、756億95百万円になりました。これは関係会社預け金の増加28億20百万円などによるものであります。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比し、29億80百万円増加し、271億50百万円になりました。これは買掛金の増加22億円などによるものであります。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比し、3億39百万円増加し、485億44百万円になりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上12億34百万円、剰余金の配当による減少8億37百万円などによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比し29億48百万円増加し、190億50百万円になりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、51億67百万円(前年同期は51億73百万円の収入)になりました。これは税金等調整前四半期純利益20億5百万円、減価償却費15億36百万円、仕入債務の増加22億19百万円、法人税等の支払額8億76百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、13億29百万円(前年同期は14億38百万円の支出)になりました。これは有形固定資産の取得による支出12億64百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、8億66百万円(前年同期は7億19百万円の支出)になりました。これは、配当金の支払額8億37百万円、リース債務の返済による支出28百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の通期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表しました業績予想を修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,960	6,066
売掛金	52	62
商品	6,219	6,199
繰延税金資産	523	537
関係会社預け金	9,989	12,809
その他	4,691	5,299
流動資産合計	27,436	30,974
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,437	16,330
土地	15,012	15,012
その他(純額)	5,518	5,494
有形固定資産合計	36,968	36,837
無形固定資産		
のれん	344	278
その他	248	264
無形固定資産合計	593	542
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,974	1,984
差入保証金	4,569	4,557
その他	836	799
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	7,376	7,340
固定資産合計	44,938	44,720
資産合計	72,374	75,695
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,696	15,896
未払法人税等	1,142	1,060
賞与引当金	540	671
役員業績報酬引当金	43	11
店舗閉鎖損失引当金	7	0
ポイント引当金	31	41
資産除去債務	9	1
その他	5,377	6,153
流動負債合計	20,848	23,837
固定負債		
商品券回収損失引当金	3	3
退職給付に係る負債	94	65
資産除去債務	1,541	1,571
その他	1,681	1,672
固定負債合計	3,321	3,313
負債合計	24,170	27,150

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,267	2,267
資本剰余金	3,184	3,186
利益剰余金	42,709	43,107
自己株式	△76	△71
株主資本合計	48,086	48,490
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	97	89
退職給付に係る調整累計額	△139	△131
その他の包括利益累計額合計	△41	△41
新株予約権	29	49
非支配株主持分	131	47
純資産合計	48,204	48,544
負債純資産合計	72,374	75,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
営業収益		
売上高	110,803	111,475
その他の営業収入	1,963	1,991
営業収益合計	112,767	113,467
売上原価	83,644	84,301
売上総利益	27,159	27,173
営業総利益	29,122	29,165
販売費及び一般管理費	26,874	27,050
営業利益	2,248	2,115
営業外収益		
受取利息	15	20
為替差益	18	—
生命保険配当金	6	15
雑収入	28	18
営業外収益合計	69	53
営業外費用		
支払利息	52	71
為替差損	—	40
雑損失	3	12
営業外費用合計	56	124
経常利益	2,260	2,044
特別損失		
固定資産除却損	2	2
減損損失	55	35
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	0
特別損失合計	58	38
税金等調整前四半期純利益	2,202	2,005
法人税、住民税及び事業税	799	879
法人税等調整額	52	△27
法人税等合計	852	852
四半期純利益	1,350	1,153
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,397	1,234



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	1,350	1,153
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△30	△10
退職給付に係る調整額	3	7
その他の包括利益合計	△26	△2
四半期包括利益	1,324	1,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,372	1,234
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	△84

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,202	2,005
減価償却費	1,498	1,536
減損損失	55	35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2
のれん償却額	73	65
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	131
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△35	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△26	△17
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△29	△6
商品券回収損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1	11
固定資産除却損	2	2
受取利息	△15	△20
支払利息	52	71
為替差損益(△は益)	△17	40
売上債権の増減額(△は増加)	△11	△9
たな卸資産の増減額(△は増加)	△304	3
仕入債務の増減額(△は減少)	2,271	2,219
退職給付制度終了に伴う未払金の増減額(△は減少)	△50	△36
その他	407	95
小計	6,060	6,095
利息の受取額	15	19
利息の支払額	△52	△71
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△850	△876
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,173	5,167
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,171	△1,264
無形固定資産の取得による支出	△37	△52
敷金及び保証金の差入による支出	△222	△34
敷金及び保証金の回収による収入	55	59
その他	△62	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,438	△1,329
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△17	—
リース債務の返済による支出	△24	△28
配当金の支払額	△677	△837
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△719	△866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,975	2,948
現金及び現金同等物の期首残高	14,390	16,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,366	19,050

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。